65 東洋区およびオーストラリア区におけるブユ科の地理的分布

高岡宏行（大分大・医・感染予防医学）

The geographical distribution of Simuliidae in the Oriental and Australasian Regions

Takaoka, H.

東洋区とオーストラリア区のブユ科に関しては、汎世界的分布性の*Simulium* s. l.およびオーストラリア区に固有の*Austrosimulium*と*Paracnephia*の3属が知られ、これまで、我々が記載した新種206種を含め526種の分布が報告されている (Takaoka, 2003). 最近、3つの属のうち全体の大多数が属する*Simulium*属のいくつかの亜属、さらにその下位の種群の再定義がおこなわれた結果、地理的分布の見直しが必要となった. この地域のブユの地理的分布については、すでに1996年に発表したが、今回は、それを改定し、*Simulium* 属内の12亜属、および4亜属ではその下位の種群について地理的分布の特徴を示したい. 亜属あるいは種群レベルにおいても、地理的分布パターンは、1) 大陸限定分布型、2) 大陸中心で一部島嶼分布型、3) 島嶼限定分布型、4) 島嶼中心で一部大陸分布型に大別される.

66 クマネズミ防除対策のシステム化（予報）

矢部辰男（ラット コントロール コンサルティング）

Systematization of roof rat (*Rattus rattus*) management (Preliminary report)

Yabe, T.

クマネズミの複雑な発生現場（建物）に直面すると、防除対策にどこから手を付けてよいかわ、あるいはどのような手段をとるべきかわ戸惑うことがある. このような場合、システム化された手順があるならば対策は容易になる. そこでクマネズミ防除対策のシステム化を事例（都心の高層ビル、戸建て住宅、皮革製品商品センター）によって検討した：①ビルの場合、全体を小さな空間（部屋や天井裏等）に分けて、各空間からネズミを排除する「ネズミのいない空間（Rat Free Space, RFS）工法」をとり、特に採餌場所のある空間対策に重点を置く. ②ビル・戸建てとも、胃内容物検査も含めた技法で採餌場所を特定し、採餌場所を封鎖する. ③通路の封鎖は、採餌場所や営巣場所の封鎖を補助する手段と解せる. ④営巣場所の封鎖や、罠・殺鼠剤は個体数の減少を促進させるために役立つ.